

## 写真

広島で初の世界平和連帯都市市長会議  
1985年8月5日原爆慰靈碑前のテレサ女史  
(1984年11月23日)

碑に「聖火」をささげて犠牲者を慰めた。原爆資料館では  
「平和のために一緒に祈りたい」と話を合わせた。

被爆40年を機に老朽化した原爆慰靈碑(奥左)が改築されることになった。工事を前に、  
大きさ、形、色もそっくりな木製の仮慰靈碑(手前右)が完成した

二つ並んだ原爆慰靈碑(1984年11月26日)

アジア初の国際アニメフェスタ  
(1985年8月18日)完成した広島市役所新本庁舎  
(1985年5月18日)

「愛と平和」をテーマに第1回国際アニメーションフェスティバル広島大会が開幕。17カ国から寄せられた69作品が6日間かけて公開審査された

被爆建物だった旧本庁舎(手前右)は後に取り壊されたが、地下倉庫が保存され、「旧庁舎資料展示室」となった。東側には16階建ての新庁舎がそびえ立つ

## ヒロシマを世界にアピール 1984~85

## レンズはとらえた

70  
戦後  
年

## 被爆地発核廃絶の願い

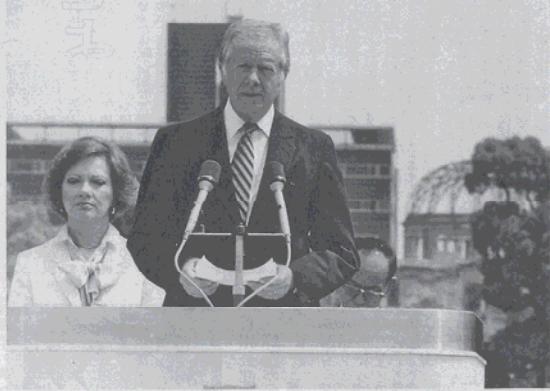
1980年8月5日、被爆40年の広島を舞台に、第一次世界平和連帯都市長会議が開かれた。当時、東欧では、東西冷戦の緊張が高まり、東西ドイツの統一やソ連の崩壊など、世界は紛争が多く、核兵器の廃絶に向かい、海外22ヵ国、67都市と国内の98都市が参加した。

首長たる約500人で被爆慰靈碑に参拝し、原爆資料館も見学。被爆者やくじらの苦しみなどを聞き、被爆実態に觸れた参加者は「米ソの指導者スピロ・マクカーリーに『世界の平和が運んで取組む目標を盛り込んだ』広島ビールを貰って飲んで目撃を盛り込んだ」と広島ビールを貰って飲んで目撃を盛り込んだ。

島ビールを貰って飲んで目撲を盛り込んだ。1984年には、後アーベル和平賞を受賞した。同年3月、カーター元米大統領が訪問時に同賞を授賞した。カーターは「被爆慰靈碑で平和ビルを発表して平和の推進や核兵器の削減を訴えた。」と評した。同年3月、初めて劇場公開といわれる「アリコ・森事件」の発端となる洋画「アリコ・森事件」が発売。85年8月には、グリコ社長勝利事件が発生。5月には、日航ジャパン航空事故があり、52人が犠牲になった。

表し、平和の推進や核兵器の削減を訴えた。1984年3月、初めて劇場公開といわれる「アリコ・森事件」の発端となる洋画「アリコ・森事件」が発売。85年8月には、グリコ社長勝利事件が発生。5月には、日航ジャパン航空事故があり、52人が犠牲になった。

カーター元米大統領の平和アピール(1984年5月25日)



米大統領経験者として初めて原爆資料館などを見学。約千人の市民たちに「核競争を防ぐには、世界の指導者の行動だけに頼らず、私たちが平和を不断に要求しなければならない」と呼び掛けた